

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和4年8月2日

施設名	香北青少年の家	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	---------	-----	------------

## 1 施設の概要

指定管理者名	(株)香北ふるさとみらい	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
施設所在地	香美市香北町吉野1300		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用の許可に関すること</li> <li>・施設及び設備の維持管理に関すること</li> <li>・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関すること</li> <li>・主催事業を計画し、実施すること</li> </ul> <p>&lt;令和3年度主催事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日帰りだよ！親子忍者大会体験</li> <li>・日帰りだよ！親子で忍者大会</li> <li>・日帰りだよ！親子でピザ職人 高学年</li> <li>・日帰りだよ！ちびっこ忍ジャー</li> <li>・めざせ!!やなせたかし先生</li> <li>・青年リーダー研修</li> <li>・日帰りだよ！親子でピザ職人 低学年【中止】</li> <li>・日帰りだよ！プチ!!親子避難生活体験【中止】</li> </ul>		
施設内容	<p>青少年教育施設として、「自然とのふれあい体験、共同生活体験及び体験的な学習活動などを通じて心身ともに健全な青少年の育成を図る」という設置目的に基づき運営している。</p> <p>構造:本館 鉄筋コンクリート2階 延べ1,002.65㎡          別館 鉄筋コンクリート平屋 延べ295㎡          研修棟 鉄筋平屋 延べ300.16㎡</p> <p>施設概要:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修室 3室(定員20名,80名,120名)</li> <li>宿泊室 定員127名</li> <li>浴室3室</li> <li>野外炊飯場 3箇所 定員300名</li> <li>ランニングコース 1コース 1.7km</li> <li>オリエンテーリングコース 1コース 10km</li> <li>ウォークラリーコース 2コース 5km</li> </ul>		
職員体制	職員:所長1名 会計総務部長1名 会計総務部1名 指導主任1名 指導員3名 調理主任1名 調理員3名 警備宿直3名 合計:14名		

## 2 収支の状況

(単位:円)

		R02年度(決算)	R03年度(決算)	R04年度(予算)
収入	県支出金	41,176,000	41,453,000	41,632,000
	事業費収入	218,448	208,622	330,000
	収入計	41,394,448	41,661,622	41,962,000
支出	事業費	1,114,846	917,312	1,281,000
	管理運営費	13,721,774	16,156,749	12,469,000
	人件費	22,794,713	20,800,160	24,398,000
	消費税	3,763,115	3,787,401	3,814,000
	支出計	41,394,448	41,661,622	41,962,000
使用料収入		275,740	505,824	1,459,000

### 3 利用実績

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平均
利用者数	15,129	15,478	12,681	3,927	4,664	10,376
利用団体数	162	166	132	67	80	121
宿泊者数	6,589	6,570	5,431	1,032	1,343	4,193
宿泊稼働率	22.9%	24.9%	23.2%	7.8%	9.8%	17.7%

### 4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	<p><b>【評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問によるニーズの集約、参加(利用)意欲の喚起、親子の関係づくりにテーマを置いた事業の実践、施設の安全管理や事業実施時の安全な運営に充分配慮し、地域社会との連携もしっかりとられている。今後の継続的な活動に期待する。</li> <li>・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため工夫を行い、事業内容の簡素化や日帰り実施への変更等により、事業を中止することなく実施できている。新型コロナウイルス感染症終息後も生かしていくことを期待する。</li> <li>・感染対策マニュアルや安全管理マニュアルが定められており、参加者の生命を守る方策がまとめられている。</li> </ul> <p><b>【意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、利用拡大に向けた取組は一定できているが、利用対象者のニーズをさらに深く探って、利用者を増やす努力が必要である。学校や団体だけでなく、個人での利用を促進する企画や、ニーズが高まる健康維持・増進をテーマに組み入れるなど工夫してほしい。</li> <li>・4月から9月頃までの期間にも事業を実施してほしい。(事業の実施が10月以降に集中しているため)</li> <li>・主催事業のスケジュールをホームページに掲載するのが遅い。ホームページを活用し、安全管理上の情報や行事予定、参加募集の情報を更新し、これまで以上に利用者を第一に考えた取組がされることを期待する。</li> </ul>
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p><b>【評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の宿泊体験学習では、学校と綿密な打合せを行い、よりよい体験学習ができるように努めている。</li> <li>・利用者へのアンケートの実施や利用者との対話によりニーズを把握し、各事業の見直しを行っている。</li> <li>・職員の研修に積極的に取り組んでいる。</li> <li>・食事について、地元の直販店などを利用している。</li> </ul> <p><b>【意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートの結果に基づき、実際に改善したことや、それをきっかけとして自らが気づき改善したことをホームページに掲載してほしい。</li> <li>・次のステップとして、例えば、施設で実施しているプログラムについて、子どもであれば運動強度を中程度、中高生であれば運動強度を高強度、高齢者であれば低強度にするなど、利用者の年代によって運動強度を考えた(設定した)プログラムを提供し、研究的側面を具体化すれば、さらに教育的価値が向上するのではないかと。</li> </ul>

③施設の運営について	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で事業を実施するにあたり、感染リスクの低い屋外でのプログラムや、親子を単位とした活動の拡大を検討するなど、感染予防に細かく配慮できている。</li> <li>・職員のスキル向上のための研修に参加させている。</li> <li>・老朽化してきた施設について、担当課と連携を取り合い、少しずつではあるが予算を有効に活用して改修を行っている。</li> </ul> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響などにより、職員研修が中止となり参加できないケースがあった。今後もこうした状況が続くことが見込まれるため、その代替策を検討してほしい。</li> <li>・食中毒を起こさないための対策を検討してほしい。</li> <li>・野外飯ごう炊飯場は貴重な体験の場であるので、少しずつの改修(椅子やテーブルの取り替え)ではなく、全面改築ができればよい。</li> </ul>
④利用実績	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊数について、前年比20%増を達成できている。</li> </ul> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年、令和3年と新型コロナウイルス感染症の影響で(利用者が)減少している。また、利用者の回復状況が他の青少年教育施設と比較して鈍いように見受けられる。立地条件や学校が主な利用者になっていることなど不利な条件にあるが、そこを乗り越えるため、創意工夫してほしい。ウイズコロナを見据えて、令和4年度は平成30年度水準まで戻すことを期待する。高知青少年の家(都市型施設)の取組などを参考にしてみてもよいのではないか。</li> </ul>
⑤収支の状況	<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(利用者数が少ないため、)利用者一人当たりの収入(特に県支出金)や支出の割合が大きくなっており、必要以上の費用をかけて運営をしているように見えかねない。現在の収支で運営していくのであれば、利用者数をさらに回復させることに注力する必要がある。</li> <li>・科目の表記については、収支内容が確認できれば特に問題ない。</li> </ul>
<p>総合評価</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において、事業の見直しを図り工夫した取組がなされている。</li> <li>・野外での活動や宿泊体験など、家庭単位でも、学校単位でも、満足できる貴重な経験ができる施設であるので、今後もウイズコロナを見据えて様々な取組を進めてほしい。</li> <li>・利用促進に向けて、これまでの企画に頼るだけでなく、次々と新しい企画を考案してチャレンジしてほしい。今の青少年に必要なこと、また求められていることをしっかりと分析して、ますます充実した施設になることを期待する。</li> </ul>

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
  - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
  - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
  - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。

また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。